

**日本経済，世界経済をめぐる諸課題の考察**

教授 高 浜 光 信

**1. 研究内容**

本ゼミでは、経済学を通じた思考方法の学習とともに、現在の国際経済環境に関する理解を深めることを目標としています。過去のゼミでは、欧州債務危機、東アジアにおける通貨・金融協力、グローバル・インバランス（世界的経常収支不均衡）と基軸通貨ドルの不安定性、多国間貿易協定、暗号通貨と金融包摂といったテーマを考察してきました。専門ゼミは、学生諸君が初めて「研究」の場に触れる機会です。「研究する」とはどういうことかを経験したい学生を希望します。

**2. ゼミの進め方**

## 《2年次》

2年次においては対象を限定せず、社会科学の方法や経済理論に関して全般的なイメージをつかんでいただきたいと思います。後期はグループ別の研究報告も課しています。

## 《3年次》

3年次の演習では、6, 7名のグループによる定期的な研究報告を中心に進めます。本年度の研究テーマは下記の通りです。

- ・「リブラ(Libra)構想は実現可能か」
- ・「ドル体制は継続するか」
- ・「ベーシックインカムの是非」

## 《4年次》

4年次では卒論の形で個人研究の成果をまとめるよう指導しています。

**3. 教 材**

過去数年、ゼミにおいて使用したテキストは下記のとおりです。ゼミ員のプレゼンテーションによる輪読が基本となります。来年度2年次のゼミで使用されるテキストは未定です。こちらから数冊提示し、ゼミ員と相談のうえ決定したいと思います。

## (2年生)

- ・D. スタッカラー＝S. バス『経済政策で人は死ぬか?』草思社。
- ・パオロ・マツァリーノ『反社会学講座』筑摩書房。
- ・飯島寛之他『身近に感じる国際金融』有斐閣。
- ・ハジュン・チャン『ケンブリッジ式経済学ユーザーズガイド』東洋経済新報社。

## (3年生)

- ・F. マーティン『21世紀の貨幣論』東洋経済新報社。
- ・野口悠紀雄『ブロックチェーン革命：分散型自律社会の出現』日本経済新聞出版社。
- ・川野祐司『キャッシュレス経済：21世紀の貨幣論』文真堂。

**4. 成績評価の方法**

研究報告、ゼミ活動への取り組みを中心に評価します。

**5. ゼミ入室試験（選考方法）**

選考方法につきましては、Oh-o!Meijiにて、後日連絡します。

**6. その他・志願者へのメッセージなど**

- ・他大学ゼミとの積極的な交流を勧めています。今年度は、同志社大学、関西大学、南山大学、長崎大学などとのディベート大会の他、國學院大學との合同ゼミを予定しています。
- ・交換留学生の受け入れは可能です。